アルミ歩行補助手すり　アルホージョ（自立型）
取扱説明書

Ver.3.01

施工手順　自立型（埋込施工・後付施工・自在足元金物）

⚠ 施工上のお願いとご注意

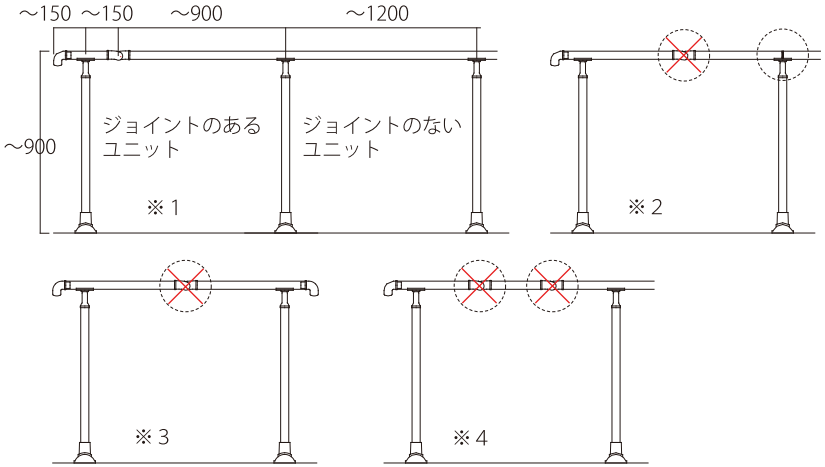
この商品は歩行補助手すり（自立型）です。墜落防止や防護柵としての機能はありませんので、転落の恐れのある場所へ設置しないで下さい。
また、本品を改造したり手すり以外の用途で使用しないで下さい。

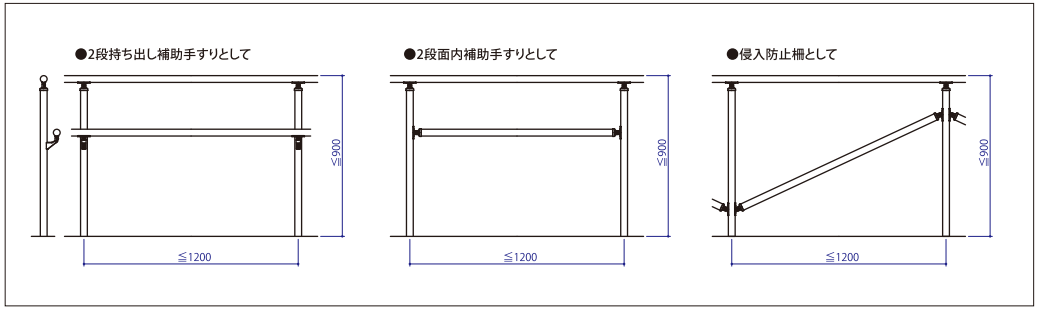
⚠ 施工前の注意事項

後付芯材(ALH-393)、自在足元金物(ALH-410)を使用する納まりの場合、床の仕上げは打放しコンクリートかモルタル仕上げ、タイル仕上げとし、レンガ仕上げや防水納まりへ使用しないで下さい。アンカーの埋め込み深さは、モルタル、タイル仕上げの寸法を除いた寸法をアンカー埋め込み寸法とします。
埋込施工時の速乾材の使用は、腐食の原因となるので使用しないでください。また、必ず水抜き穴(6Φ)をあけてください。

取付要領

① 支柱の取り付け間隔は 1,200mm以内、支柱高さは 900mm以内 として下さい。(※１)
② エンド部は支柱から150mm以内にキャップを取り付けて下さい。
③ 直ジョイントの場合、各笠木取付用ブラケット上で接続して下さい。
また直ジョイントのユニットで他にジョイントする部分を設けないで下さい。（※２）
④ エルボジョイントの場合、下記の要領にて支柱の取り付け間隔を設計して下さい。
1．ジョイントのあるユニットの左右どちらかにジョイントのないユニットを連続して設けている場合、支柱とジョイントの間隔を片側150mm以内、反対側900mm以内で接続して下さい。（※１）
2．2本の支柱のみで取り付ける場合は、ジョイントを設けないで下さい。（※３）
3．支柱間に、２個以上のジョイントを設けないで下さい。（※４）





施工後のお願いとご注意

各部材、部品は取扱説明書の通りに取り付けられているか、各部の締付けビスのゆるみが無いかどうか、その他の不具合が無いか必ず確認した後に引き渡して下さい。

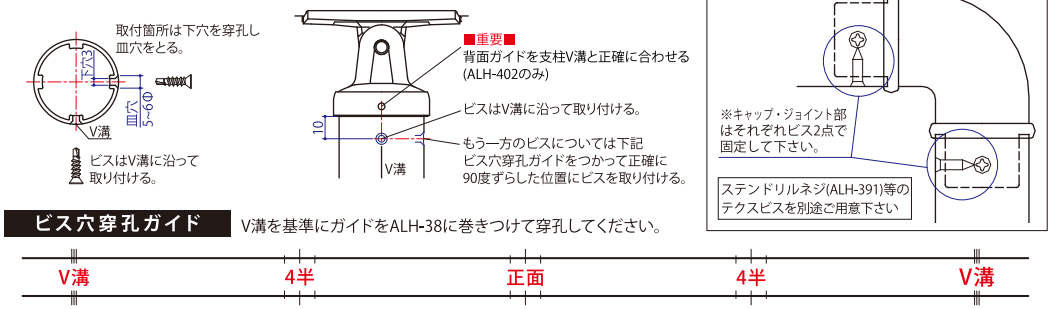
引渡し時のお願いとご注意

①ブラケットやエルボなどを定期的に確認し、ガタツキや異常がある場合はすぐさま使用するのを中止し施工店に連絡するようお願いして下さい。
②日常のお手入れは軟らかい布で拭き、取れにくい汚れには家庭用中性洗剤を水で薄めて軟らかい布に浸して拭き取って下さい。（家庭用中性洗剤以外の薬品は絶対に使用しないで下さい。）
◎以上、必ずお施主様にお伝え下さい。

A. 手すりの組立

①手すり・支柱に必要な寸法を、手すりの高さ・長さ・傾斜角度・床部納まりより割り出し、手すりパイプ(ALH-38)を切断して下さい。
②ブラケットと手すり・支柱の取り付けは、組み立てる前に仮組みしレベルがでているのを確認し、必要な場合は微調整して下さい(特にスロープ部)。
③エンド・エルボ部から150mm以内にブラケットを取り付けて下さい。
自立型可動ブラケット(ALH-400)、自在エルボ(ALH-390)、その他の手すり部品はパイプを部品の奥まで差し込み、ステンドリルネジ(ALH-391別売)等で二ヶ所から確実に締結して下さい。ネジは先に小径のドリルで穿孔すると作業しやすくなります。

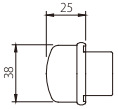
■キャップ・ブラケットの取付について



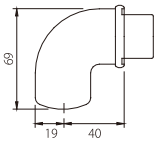
ビス穴穿孔ガイド　V溝を基準にガイドをALH-38に巻きつけて穿孔してください。

④自立型可動ブラケット(ALH-400)は、受け部品の角度を決めてから角度調整用ビスで締結し、その後で手すり笠木をビスで固定します。
持ち出しブラケット (ALH-401) は、受け部品と笠木パイプ、本体と支柱パイプをそれぞれビス固定した後に、受け部品と本体を六角穴付きボルトで締結してください。
自在可動ブラケット(ALH-402)は、笠木受けブラケットとして使用する場合、受け部品と笠木パイプ、本体部品と支柱パイプをそれぞれ固定した後に角度調整しながら受け部品と本体を六角穴付きボルトで締結してください。面内ブラケットとして使用する場合、支柱と受け部品を固定した後に、角度と面内パイプの長さを調整しながら受け部品と本体を固定し、最後に面内パイプと本体をビス固定すると取付が簡単です。

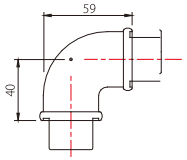
ALH-381
エンドキャップ



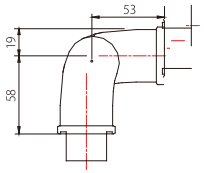
ALH-382
90度エンドキャップ



ALH-383
90度エルボ

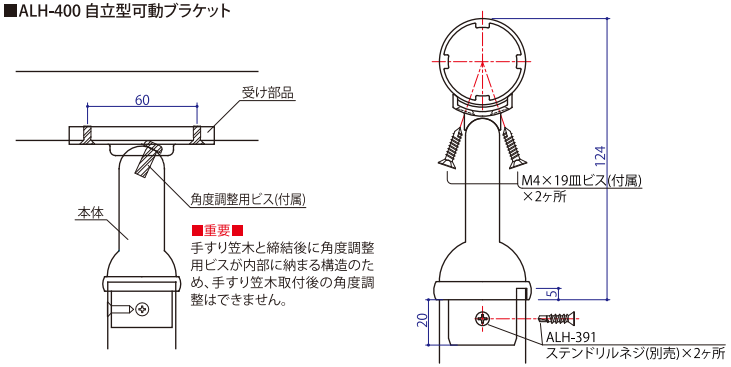


ALH-390
自在エルボ

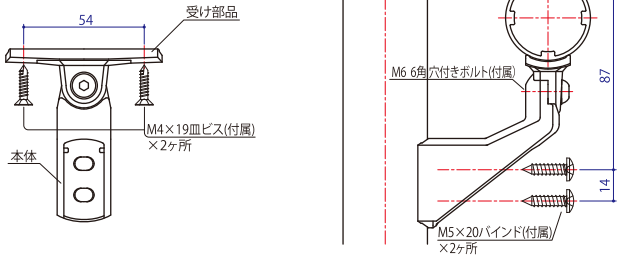


※キャップ・エルボには
パイプが 1.5mm まで入り込みます。

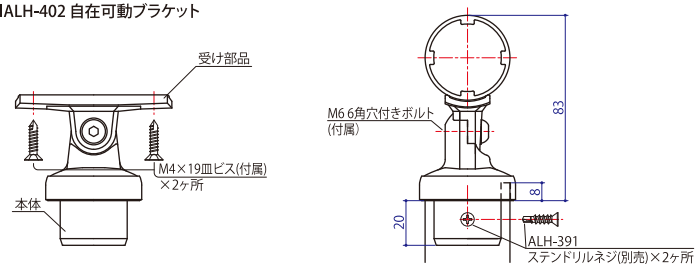
■ALH-400 自立型可動ブラケット



■ALH-401 持ち出しブラケット



■ALH-402 自在可動ブラケット

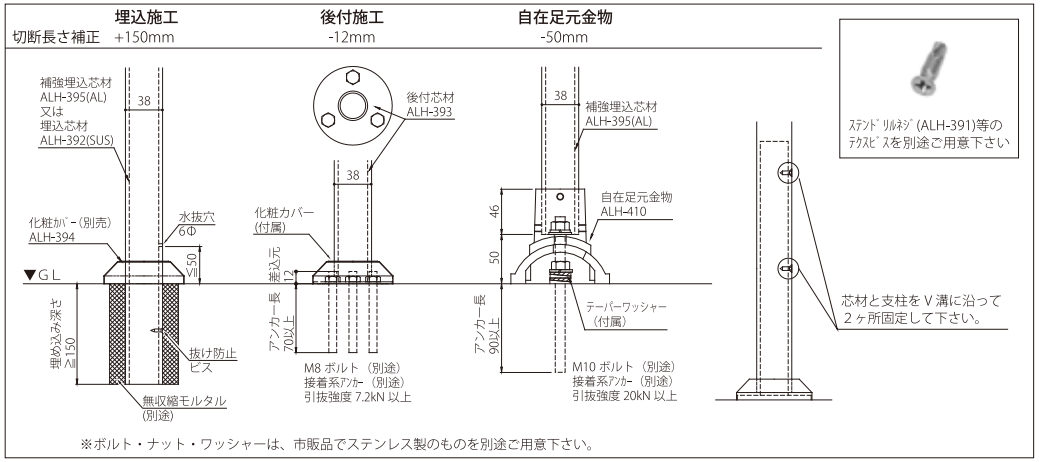


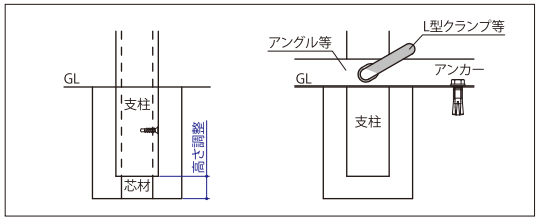
⑤芯材と支柱を固定します。芯材を支柱パイプに差し込み、ブラケット、手すりパイプの位置を設定し、支柱パイプと芯材をV溝に沿ってステンドリルネジ(ALH-391・別売)等で適当な位置を2ヶ所固定して下さい。
（自在足元金物は使用時に止めネジで固定するため芯材と支柱の２ヶ所固定が不要です。）

⑥組み立て後、ガタツキや部品・ビスのつけ忘れがないかをよく確認して下さい。

B. 埋込施工で取付の場合

①補強埋込芯材 ALH-395(AL)、又は埋込芯材 ALH-392(SUS) を使用します。
②支柱を取り付ける位置に70Φ程度の埋め込み用の穴をあけて下さい。
③支柱の埋め込み深さは150mm以上として下さい。なお、市販のコンクリートブロックへの取付・埋め込みでの施工も可能です。
④レベル調整は、芯材を支柱パイプから出して調整するか、建材アングル(別売を地面にアンカー固定して支柱とクランプで固定すると取付が簡単です。
⑤芯材・支柱を埋め込み、無収縮モルタル等で固定して下さい。
⑥地上面(GL)から50mm以内に水抜き穴(6Φ)を必ずあけて下さい。





手すりユニットのレベル調整は、芯材を支柱パイプから出して高さを決めてからビス留めし壁や柱から支持をとって動かないようにするか、アングル等をGL面に置いて支柱とクランプしアンカー等でアングルを固定し、それからモルタル充填すると取付が簡単です。

C. 後付施工で取付の場合

①後付芯材(ALH-393)は接着系アンカー(別途)で取り付けて下さい。
アンカーの強度は、引張強度7.2kN以上のものを使用して下さい。施工時は各メーカーの取扱説明書に従って、必要分の穿孔深さを確保して下さい。
②支柱を取付ける位置にハンマードリルで下穴をあけて下さい。
（注意）へりあき寸法は80mm以上として下さい。コンクリート割れの原因となります。
③接着系アンカー(別途)はM8ボルトを使用し、埋め込み寸法はコンクリートの埋め込み70mm以上（注・仕上　げの厚み寸法は除く）とし、アンカーの取扱説明書に従って、確実に取り付けて下さい。
④支柱を固定して下さい。（注・水平でない場合は、スペーサー等の挿入で微調整して下さい）
⑤アンカー部のボルトはワッシャー無しでナットを締結し、化粧カバーをかぶせて下さい。

D. 自在足元金物で取付の場合

自在足元金物 (ALH-410) は０°～２５°までの平面・斜面に、アンカー１本で簡単に施工することができます。
詳細は商品に添付の取扱説明書をご参照下さい。